



重雄 渡辺 議員
米田市政3期目の
基本姿勢と公約について

米田市政3期目の
基本姿勢と公約について

質問

30年先も持続可能なまちを目指すと、市長が公約として掲げた次の3点について、その現状分析や実現手法

を伺う。

- ・ 交流人口200万人達成について
- ・ 協働組織「チーム糸魚川」と情報の共有による住民参加について
- ・ 職員の意識改革と市民や地域の意識改革について



立一 中 田 議員
糸魚川市の定住促進策と
交流人口拡大策について

糸魚川市の定住促進策と
交流人口拡大策について

質問

市の「婚活」事業について、結婚情報サービス大手と提携した目的・内容や、縁結びコーデイネーターなど既存

事業との連携はどうか。

また、ふるさと糸魚川同窓会応援事業の利用状況について伺う。

市長答弁

大手結婚情報サービス会社との提携については、これまでの事業で結婚に至らなかった

市長答弁

全国的な人口減少の流れの中で、本市においても将来にわたって定住人口の増加を望むことは困難なことから、30年後の定住人口を現在と同規模とする目標を掲げた。持続可能なまちを目指すには、人々を呼び込み、消費活動を促し、地域経済の活性化につなげていくことが重要であると考えている。具体的にはジオパーク戦略プロジェクトに基づいた推進事業や、体験教育旅行・修学旅行の誘致を進め、「観光力」を強化していきたい。また、新幹線開業に向け施設整備やキャ

方などから幅広く活動していただけるよう実施したものである。内容は、市内に1年以上居住している20歳以上の独身男女に結婚相談所への入会費用を助成するもので、5月末現在、入会1名で、このほか数名からの相談がある。また、縁結びコーデイネーターの皆さんへは連絡会議で入会状況などを報告しているところであり、今後も情報の共有を図っていきたい。

ふるさと糸魚川同窓会応援

事業については、同窓会・同級会の中でUターンの呼びかけや、ふるさと応援寄付金のお願

ンベン事業を展開し、近隣市町村と連携して観光情報を発信していく。

チーム糸魚川は、行政と、市民や企業、各種団体が主体的に手を携え、同じ目標に向かって共に考え、共に歩む一体となった組織と捉えている。これまでも協働のまちづくりを推進してきたが、住民が主権者として地域づくりに積極的に参加する意識と活動を高め、市民と行政とのパートナーシップを築いていきたい。このためには、市民と行政が地域の情報共有することが重要であり、市民ニーズの把握とオー

い、さらには地域経済の活性化を図ることを目的としている。今年5月末までに11件の同窓会が開催され、市民321名、市外の方252名、計573名の方の参加があった。

公文書と古文書について

質問

公文書の管理や市内の古文書研究の状況について伺う。

市長答弁

公文書は、文書規程に基づき分類・管理しており、保存年限に達したものでも歴史的に

ンデータの推進を図り、数値化された行政データの公開と活用、地理情報システムの多用途利用を進めていきたい。

職員の意識改革については、全職員が危機意識を持って行政経営にあたり、課題解決に対して職員が知恵を出す仕組みづくりが必要であると考える。職員が一丸となって目指すべき目標に向かって取り組み、地域課題の解決に向けて、職員の徹底した意識改革を図り、そして市民、地域の意識改革へとつなげていきたい。

価値があるものは保存することとしている。

また、市が保管する古文書について、その大半は目録を整え、糸魚川郷土研究会と連携して解読を進めている。



《その他質問項目》

・ 農業について